

幼稚園自己評価をするための保護者アンケートの結果

2025年3月

園長 副島 由美子

この度は、保護者アンケートにお答えいただきありがとうございました。世帯数の76パーセントの回答をいただきました。下記の1に示された ①なっている ②ほぼなっている ③なっていないについては、ほぼ全員の方から、「なっている」との回答をいただきました。

記述欄にも、これまた心温まるご意見や励ましをいただきました。重複する内容は割愛させていただきながらも、なるだけの意見や希望を書かせて頂きました。すべてに目を通しながら、いつもながらに、力になる励ましやご理解をいただけたこと、嬉しい限りです。尚、この結果につきましては、今後、ホームページに掲載、職員会議や理事会で討議し今後の幼稚園運営に生かしていく所存です。ご協力ありがとうございました。

1 園の教育理念である「どの子にも 友達と自然な生活を」やめざす子ども像にふさわしい教育・保育内容になっていますか。当てはまるものを○で囲み、そのうえでご意見を記入して下さい。

1、なっている 2、ほぼなっている 3、なっていない

○「クラス・年齢違っていても友達」という気持ちが自然に生まれ育まれることが嬉しい。○自然の中で自然を五感で感じ、自由に飼育・観察・実験ができ、自ら学ぶ、考える、感じることを大切にしてくれることに感謝。○一人一人をととても細かいところまで観て頂き安心してお任せできる。○日々の生活や遊びを通じて、自分で考えいろいろなことに興味関心を持つことが出来る。我が子の作品の発想力創造力に驚きとともに嬉しく感じている。○日々の保育に感謝。○「自然とみんなで（町全体で）子育て」という入園時に伺った園長先生のお話そのものの1年でした。教育・保育理念の中で、心身とも大きく育った。○一人一人の個性を大切にしながら、良いところを伸ばしてくれる。○先生が本気で子どもと遊んでくれる。○縦割りクラス・横割りクラスそれぞれの生活を通して、クラスの枠を超えた交流が出来る。自分たちで考え、主体的に生活ができる素晴らしさを実感している。○縦割り・横割り様々な生活を通して、人との違いや関わり方を学んだ。年長さんと暮らすことで、年下の子との関りも上手になり、目線を合わせて屈んだりわかりやすくゆっくり話しかけたりする姿から、親として学ばされた。○好きな事をのびのびできる環境の中で好きな事や物がたくさん見つけることが出来た経験は、これから様々なところで生きると思う。○どんな状況でも教育・理念が感じられる教育・保育であり感謝です。○小さな頃に育まれる心の根・人としての素地を育ててくれた。○先生方に、様々な感情を受け止め共感してもらうことで、子どもと先生の信頼関係ができ心の拠り所になっている。○正義感・人を偏見せずフェアな考えを教えてくれる幼稚園。○教育理念をただのスローガンではなく実践している。○「どの子にも」の言葉が池の川幼稚園の教育・保育の象徴だと感じた。平等に子どもの目線を考え、それぞれの個性を尊重することで自然に友達との交流が広がる。自分で考え、楽しみを見つけ誰かと共有することで逞しく活発になった。

2、行事について

日常生活と同様、行事も年齢にふさわしい参加や取り組みが出来、かつ子どもたちが主人公になることに心掛けて取り組んでおります。行事の様子については、ホームページの園長だよりやクラスだより、そしてお子さんからのお話で知ることが多かったとは思いますが、保護者の方々から見ていかがでしたか。感想や行事にまつわるエピソード等ありましたら、記入してください。

○どんな子どもでも、主人公と思える行事である。

○四季の行事を、五感で感じとっている。季節を感じながら友達と過ごす時間はかけがえがないものである。
○行事を彩る作品が毎年違って、先生方のアイデアが素晴らしい。さらに先生方が極力手を加えず見守ってくれるので、個性あふれる作品になっている。○ホームページやクラスだよりは、子どもの成長や生活を感じることが出来、読んでいると幸せな気持ちになる。様子を知ることで、(園と家庭)の連携がスムーズになっている。
○行事を通して日本の文化に触れ、年中さんへの優しさや年長さんへの憧れを培っていたと思う。○行事のための日々の活動ではなく、日々の活動の先に行事があるとすることが出来た。無理をさせず、その時の子どもたちを受け止めてもらい課題に取り組めたので楽しく参加できた。○見せるための運動会ではなく、子どもたちが楽しく無理なく参加できる運動会である。○各行事で多々驚かされるのは「食」。これまで食べたことのないピワ・お餅・イワシ・椎の実・等食べているブログやクラスだよりを見て驚きと感動です。○栗拾いの体験後、お店等で栗を見つけると「こうやって足で(イガ)を押さえて栗の実をとるんだよ」と目をキラキラさせて教えてくれた。
○四季や行事について「かわらないもの」を伝えて下さる。○子どもと親が行事に参加し遊ぶというコンセプトを十分に楽しむことが出来た。インドでは、一般的ではないので幸運である。自由が子どもたちに自己肯定感を与え、創造性を伸ばしているのが興味深い。私たちはこどもたちを育む方法に満足している。

3 保護者の方との相互理解をはかるための取り組みについて

教育・保育にとって、保護者との連携や相互理解・信頼関係は欠かせません。そのための一助になることを願って、保育参加や参観・個別面談やクラス懇談会・クラスだより・園長だより・ざっくばらんの会・父母会活動があります。こうした取り組みへの感想やご意見ご要望がありましたらご記入下さい。

○連携に関して、感謝です。卒園しても幼稚園⇄保護者の関係、子どもたちを見守って下さり心強い。
○写真・ホームページ・クラスだよりの子どもたちや先生の笑顔に、いい意味での先生オーラを感じさせないくらい子どもたちと一体になって遊び活動している。○園での様子を発信していただける頻度と内容がともに多く、手に取るように伝えて頂きありがたい。子どもとともにのお便りを読むのが楽しみ。○保育参加で子どもとともにお弁当を食べたことは良い体験になった。○保育参観・懇談会・面談等、先生とお話をしたり連絡できる機会がたくさんあり子どもの普段の様子を知ることが出来、ありがたい。○手書きのお便りは、愛情いっぱい温かくて大好き。○クラスだよりは担任目線の言葉が書いてあり、共に成長を喜んでくださっているのが伝わり嬉しい。○園長だよりは楽しく拝見、進級への期待や刺激になる。○今年度から委員会がなくなり一本化されたが、クラス委員と教養委員会は別々に活動をした方が負担が少ないのでは。○父母会活動を通じて、子育て仲間をつくる事が出来た。子どもたち同様、母たちも友達や仲間が必要で、母親同士語らう時間が持てたことに感謝です。○こんなに先生と子どもと保護者が密にかかわれる場所は、本当に少ない。幼稚園を通しての保護者の繋がりを毎年のように受け入れる幼稚園は素敵。みんなが帰ってきたい幼稚園だと感じる。
○様々なところで親同士の関係が持てることで、子ども同士のトラブルがあった際に深刻にならないで済んでいる。園バス利用の方が増える中、より親同士のコミュニケーションがとれる場の大切さを感じる。○ざっくばらんの会は、ありがたい。○同窓会活動やOB同好会は、学校とは異なる居場所をつくり、親の繋がりが心の支え、親子の支えとなる。○長期休みの園庭開放はありがたい。